

## 令和7年度 会員意識調査

この調査は、一般社団法人日本臨床衛生検査技師会（日臨技）の事業活動の参考とするために、またこの調査結果が、日臨技にとって今後の活動に有効に活用できるものとなるように、会員個々の考え方やご意見をお聞きするものです。率直なご意見をお聞かせください。

なお、この調査は検査部門の実態を把握するための調査であり、この目的以外には使用いたしません。また、個人情報保護の観点から、個人名が外部に漏れることはありません。

以下の【A】～【D】は会員情報を自動表示します。表示された内容を確認し、そのまま進むか、または正しい内容に変更できます。ただし、内容を変更してもデータベースの会員情報は変わりません。会員情報と回答に違いがある場合は、「調査回答が会員情報と異なります。会員専用サイトで会員情報を最新にするか日臨技事務局へ変更申請をおこなって下さい。」というメッセージと「会員専用サイトへのリンク」が表示されますので、必要に応じて変更申請をお願いいたします。

設問数は21問で、およそ20分程度で終わります。また、途中でいったん中止しても、回答された内容は保存され、再度ログインすることで続けてご回答いただけます。基本的にスマートフォンでのご回答もできます。なお、実際に回答されるWeb上の設問内容は、都合により変更になる可能性があることをあらかじめご了承ください。

### 【A】主たる都道府県技師会（単一回答）

(01)	北海道	(11)	埼玉県	(21)	岐阜県	(31)	鳥取県	(41)	佐賀県
(02)	青森県	(12)	千葉県	(22)	静岡県	(32)	島根県	(42)	長崎県
(03)	岩手県	(13)	東京都	(23)	愛知県	(33)	岡山県	(43)	熊本県
(04)	宮城県	(14)	神奈川県	(24)	三重県	(34)	広島県	(44)	大分県
(05)	秋田県	(15)	新潟県	(25)	滋賀県	(35)	山口県	(45)	宮崎県
(06)	山形県	(16)	富山県	(26)	京都府	(36)	徳島県	(46)	鹿児島県
(07)	福島県	(17)	石川県	(27)	大阪府	(37)	香川県	(47)	沖縄県
(08)	茨城県	(18)	福井県	(28)	兵庫県	(38)	愛媛県	(48)	なし(日臨技のみ)
(09)	栃木県	(19)	山梨県	(29)	奈良県	(39)	高知県		
(10)	群馬県	(20)	長野県	(30)	和歌山県	(40)	福岡県		

### 【B】性別（単一回答）

(01)	男
(02)	女

【C】現在の年齢（満年齢）（単一回答）

(01)	20歳以下
(02)	21～25歳
(03)	26～30歳
(04)	31～35歳
(05)	36～40歳
(06)	41～45歳
(07)	46～50歳
(08)	51～55歳
(09)	56～60歳
(10)	61～65歳
(11)	66～70歳
(12)	71歳以上

【D】役職（単一回答）

(01)	教授(大学)	(02)	准教授(大学)	(03)	講師(大学)
(04)	助教(大学)	(05)	非常勤(大学)	(06)	講師(専門学校)
(07)	非常勤(専門学校)	(08)	部長相当職 部長・医療技術部長	(09)	管理相当職 技師長、課長、職長
(10)	准管理相当職 副技師長、課長補佐	(11)	係長相当職 主任、係長	(12)	一般職(常勤) 正社員
(13)	一般職(非常勤) アルバイト・パート	(14)	その他		

※ 教育機関での勤務の方は 01～07 を選択してください

【E】臨床(衛生)検査技師免許取得に係る最終学歴（単一回答）

(01)	専門(専修)学校卒	(02)	短期大学卒
(03)	大学(4年制)	(04)	大学(6年制)
(05)	大学院(修士課程)	(06)	大学院(博士課程)
(07)	その他		

【F】 日臨技認定の資格取得状況（複数回答可）

(01)	認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師
(02)	認定一般検査技師
(03)	認定心電検査技師
(04)	認定臨床染色体遺伝子検査師（染色体分野）
(05)	認定臨床染色体遺伝子検査師（遺伝子分野）
(06)	認定管理検査技師
(07)	医療技術部門管理資格認定
(08)	認定病理検査技師
(09)	認定認知症領域検査技師
(10)	認定救急検査技師
(11)	医療安全管理者
(12)	他団体の認定

## I 臨床（衛生）検査技師の労働環境について

【問1】あなたは今の職場の離職を考えたことがありますか（単一回答）

1. 頻繁に考える
2. 時々考える
3. あまり考えたことがない
4. 考えたことがない

【問2】あなたの部署では残業時間が多い環境ですか（単一回答）

1. 多い環境である
2. どちらかといえば多い環境である
3. どちらかといえば少ない環境である
4. 少ない環境である

## II 他団体学会、研修会・学会（国内・海外）参加について

【問3】日本医学検査学会（日臨技主催の全国学会）に参加したことはありますか？

1. ある
2. ない

【問3-1】問3で「1. ある」と回答された方に質問です。参加した理由を選んでください。（複数回答可）

1. 参加費が安い
2. 新しい知見が得られる
3. 友人が参加するから
4. 上司に進められたから
5. 他の施設の方との情報共有のため
6. 多くの企業出展がある
7. 生涯教育点数の取得のため（認定の維持も含む）
8. その他

【問4】支部医学検査学会（日臨技主催の支部学会）に参加したことはありますか？

1. ある
2. ない

【問4-1】問4で「1. ある」と回答された方に質問です。参加したいと思う理由を選んでください。（複数回答可）

1. 参加費が安い
2. 新しい知見が得られる
3. 友人が参加するから
4. 上司に進められたから
5. 他の施設の方との情報共有のため
6. 多くの企業出展がある
7. 生涯教育点数の取得のため（認定の維持も含む）
8. その他

【問5】どのような学会（医学系）に入会されていますか。以下より選んでください。（複数回答可）

(1)	日本超音波検査学会	(2)	日本超音波医学会
(3)	日本臨床細胞学会	(4)	日本臨床微生物学会
(5)	日本環境感染症学会	(6)	日本輸血・細胞治療学会
(7)	日本不整脈心電学会	(8)	日本臨床検査医学会
(9)	日本臨床神経生理学会	(10)	日本臨床栄養代謝学会
(11)	日本医療検査科学会	(12)	日本糖尿病学会
(13)	日本臨床救急医学会	(14)	日本病理学会
(15)	日本検査血液学会	(16)	心エコー図学会
(17)	日本睡眠学会	(18)	日本臨床エンブリオロジスト学会
(19)	日本卵子学会	(20)	日本認知症予防学会
(21)	日本心血管インターベンション治療学会	(22)	日本サイトメトリー学会
(23)	日本臨床薬理学会	(24)	日本消化器内視鏡学会
(25)	日本臨床化学会	(26)	日本染色体遺伝子検査学会
(27)	日本医療情報学会	(28)	日本診療情報学会
(29)	日本メディカルAI学会	(30)	その他

### III 日臨技の生涯教育研修制度について

【問6】日臨技の“生涯教育研修制度※1”を知っていますか。（単一回答）

1. 知っている
2. 知っているが興味がない
3. 知らない

【問6-1】問6で「1. 知っている」と回答された方に質問です。「生涯教育研修制度」を充実させ、会員に周知するにはどうしたらよいと思いますか。（複数回答可）

1. 自己キャリアプランとして活用できる仕組みに再構築するべきである
2. Webを活用し、全国どこでも安易に参加できる仕組みとするべきである
3. 履修することによるメリットを明確にするべきである
4. 職場内での勤務評価に活用できる仕組みとするべきである
5. 生涯教育は個人に帰するものであり、現状のままで良い
6. 「生涯教育研修制度」の必要性を感じない

※1) 日臨技生涯教育研修制度＝臨床検査の担い手である検査技師の知識・技術水準の維持向上を目指すものであり、会員の生涯にわたる自発的な学習を組織的に援助する制度。

### IV 医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト/シェアについて

【問7】日臨技ではタスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会を各都道府県技師会において開催されていますが、受講しますか。（単一回答）

1. 受講する（または受講済み）
2. 受講しない
3. わからない

### V 日臨技の広報関連について

【問8】日臨技からの情報提供について、どのような手段で情報を得ていることが多いですか（複数回答可）

1. 日臨技公式ウェブサイト
2. メールマガジン（お知らせメール）
3. 機関誌「医学検査」
4. 都道府県技師会経由（紙・メール・会議等）
5. SNS（X、Facebook等）
6. その他（自由記述）

【問8-1】問8で「6. その他」を選択した方は、詳細を入力してください。（テキスト入力）

【問9】日臨技でスマートフォン向けアプリの開発が予定されています。どのような機能があれば、利用したいと思いますか（最大2つ選択）

1. 最新情報の通知（学会、講習会、生涯教育など）
2. 生涯教育の履歴管理・確認機能
3. 機関誌「医学検査」等の閲覧機能
4. 自分の資格情報（認定等）の管理
5. 学会参加や講習会の申込機能
6. 特に利用したいとは思わない
7. その他（自由記述）

【問9-1】問9で「7. その他」を選択した方は、詳細を入力してください。（テキスト入力）

## VI 日臨技における多職種連携医療の促進について

【問10】現在の勤務先において、臨床検査技師が「医師の働き方改革」に関連したタスクシフト・タスクシェア※を実施している業務はありますか（複数回答可）※別添参照

1. 法令改正10行為
2. 現行法実施可能解釈14行為
3. 誰が行ってもいいと示された7行為
4. その他、医師からの業務移管がある
5. まだ実施されていない
6. わからない

【問10-1】問10で「5. まだ実施されていない」と回答された方にお聞きします。あなたの職場でタスクシフト・シェアが進まない理由は何だと考えますか（複数回答可）

1. 病院としての方針や具体的な動きがない
2. 医師側の理解・協力が得られない
3. 技師側のスキルや体制の問題
4. 制度的な制約や責任の不明確さ
5. 特に課題は感じていない
6. その他（自由記述）

【問10-2】問10-1で「6. その他」を選択した方は、詳細を入力してください。（テキスト入力）

【問 11】臨床検査技師として、「多職種と連携して業務に関わる可能性がある」と考える、または「関心がある」分野があれば教えてください（複数回答可）

1. 心臓カテーテル室
2. 内視鏡室
3. 手術室
4. 在宅医療
5. 救急外来
6. 病理検査
7. その他（自由記述）
8. 特に関心はない

【問 11-1】問 11 で「7. その他」を選択した方は、詳細を入力してください。（テキスト入力）

以上

お疲れ様でした。大変ありがとうございました。

(別表)

**臨床検査技師において法令改正で業務範囲に追加された 10 行為**

① 臨床検査技師が実施可能な検体採取（2 行為）

ア 医療用吸引器を用いて鼻腔、口腔又は気管カニューレから喀痰を採取する行為

イ 内視鏡用生検鉗子を用いて消化管の病変部位の組織の一部を採取する行為

② 臨床検査技師が実施可能な生理学的検査（4 行為）

ア 運動誘発電位検査

イ 体性感覚誘発電位検査

ウ 持続皮下グルコース検査

エ 直腸肛門機能検査

③ 臨床検査技師の業務に、採血、検体採取又は生理学的検査に関連する行為（4 行為）

ア 採血を行う際に静脈路を確保し、当該静脈路に接続されたチューブにヘパリン加生理食塩水を充填する行為

イ 採血を行う際に静脈路を確保し、当該静脈路に点滴装置を接続する行為

ウ 採血を行う際に静脈路を確保し、当該静脈路に血液成分採血装置を接続する行為、当該血液成分採血装置を操作する行為並びに当該血液成分採血装置の操作が終了した後に抜針及び止血を行う行為

エ 超音波検査のために静脈路に造影剤注入装置を接続する行為、造影剤を投与するために当該造影剤注入装置を操作する行為並びに当該造影剤の投与が終了した後に抜針及び止血を行う行為

**法改正の必要なく臨床検査技師が実施可能と示された 14 の業務例**

① 心臓・血管カテーテル検査、治療における直接侵襲を伴わない検査装置の操作

② 負荷心電図検査等における生体情報モニターの血圧や酸素飽和度などの確認

③ 持続陽圧呼吸療法導入の際の陽圧の適正域の測定

④ 生理学的検査を実施する際の口腔内からの喀痰等の吸引

⑤ 検査にかかる薬剤を準備して、患者に服用してもらう行為

⑥ 病棟・外来における採血業務

⑦ 血液製剤の洗浄・分割、血液細胞（幹細胞等）・胚細胞に関する操作

⑧ 輸血に関する定型的な事項や補足的な説明と同意書の受領

⑨ 救急救命処置の場における補助行為の実施

⑩ 細胞診や超音波検査等の検査所見の記載

⑪ 生検材料標本、特殊染色標本、免疫染色標本等の所見の報告書の作成

⑫ 病理診断における手術検体等の切り出し

⑬ 画像解析システムの操作等

⑭ 病理解剖

## 法改正の必要なく職種にかかわらずタスク・シフト/シェアを進めることができる業務例

- ① 診療録等の代行入力
- ② 医師が最終的に確認または署名することを条件とした、各種書類の記載業務
- ③ 医療機関の定めた定型の問診票等で診察前の、患者の病歴・症状等を聴取する業務
- ④ 日常的に行われる検査に関する定型的な説明、同意書の受領
- ⑤ 医師等から入院に関する医学的な説明実施後の、患者や家族等への入院時オリエンテーション
- ⑥ 院内での患者移送・誘導
- ⑦ 症例実績や各種臨床データの整理、研究申請書の準備、カンファレンスの準備、医師の当直表の作成等の業務